

① 海峡にかかる褐色の栈橋を仰ぎ見ると、一部が腐っていた。

② 酪農家は、溝を掘り、垣根をつくって、牛の乳を搾るための棟を広げた。

③ 某国では、随所で起こっている刃物を使った凶悪な事件を秘匿している。

④ 慎み深さを誇りとしていた仙人は、庶民から崇拜され、慕われていた。

⑤ 監督はチームに休憩を取らせ、泥のついたユニフォームを洗濯させた。

⑥ 不法に楽譜を頒布して稼いでいる人が逮捕され、手錠につながれた。

⑦ 世界制覇をねらう艦船を、核兵器で威嚇した宰相。

⑧ 気概がある男は、砂漠に塙をつくり家畜を飼い、年老いた母を扶養した。

⑨ 老齡の奉公人への慈悲深い処遇を顧みて、淑女はご満悦だった。

⑩ 皇帝に拝謁し、囚人への恩赦を願い出る。

①大佐の大邸宅から、偶然、自叙伝と勲章が見つかった。

②禅の僧侶は、邪悪な魂を抹消する方法を示唆した。

③侍は、儒学を学び、自分の殻を破ろうと滝に打たれてたん錬した。

④進駐軍からの需要が高まり、模倣された和洋折衷の塑像が、廉価で販売されている。

⑤寮の玄関にも更衣室にも表彰状が並んでいる。

⑥酒は滋養と言って、喪中なのに父は宵の口からの晩酌を欠かさない。

⑦奴隷は鎖につながれ、遠隔地で開墾のため酷使された。

⑧薬を過剰に摂取したために、治療には煩雑な措置が必要となった。

⑨政治家の墮落や権威の失墜が、さまざまな陰謀の交錯を招く。

⑩湖畔の山荘近くで猟をしていたら、突然、鉄砲の銃口から炎が出た。

- ① 会 社 の 基 礎 が ゆ ら い で い る の で 、 合 併 の 契 約 を 進 め る の に 猶 予 は な い 。
- ② 収 賄 を 撲 滅 す る た め 、 各 地 に 潜 ん だ 係 官 が い つ も 注 意 を 払 っ て い る 。
- ③ 大 き な 負 債 を 背 負 っ た 卸 売 り 業 者 は 、 そ の 瀬 戸 物 の 占 有 を あ き ら め た 。
- ④ 暫 定 政 権 は 軍 を 鎮 圧 す る た め に 、 中 枢 部 に 直 轄 の 部 隊 を お い た 。
- ⑤ 凡 庸 な 人 物 が 褒 め ら れ て 成 長 し 、 た く さ ん の 応募 者 の 中 か ら 栄 冠 を 手 に 入 れ た 。
- ⑥ 懇 親 会 で 詐欺 の う わ さ を 撤回 し た も の の 、 甚 だ 消 耗 し た 。
- ⑦ 儉 約 家 だ っ た 父 は 、 雇 用 主 か ら の 減 俸 を し の ぎ 、 月 賦 で 顕 微 鏡 を 買 っ た 。
- ⑧ 佳人 に プレゼント を す る た め 、 繭 か ら 紡 い だ 糸 と 麻 で 美 し い 布 を 織 っ た 。
- ⑨ 閑 静 な 店 舗 で 、 粹 な 歌 謡 を 披露 し た 呉 服 屋 の 店主 。
- ⑩ 桑 の 実 が な る 六 月 に は 、 昆 虫 や 蚊 も い な い し 、 軒 先 の 花 壇 の 菊 も ま だ 小 さ い 。

① 忌中にもかかわらず、殉職した警察官のため、憎しみを我慢し、徹夜で捜査した。

② お酢の一滴が、皮膚の症状を癒やす。

③ 組織の粛清のために、漸次該当する人物を罷免する。

④ 尿意を催したので急いで飛行艇を旋回させたパイロット。

⑤ 盲目の師匠が特殊な技術でほうびを賜った。

⑥ 朱色に塗られた猿の像は、彼の傑作といわれている。

⑦ 太鼓をたたきお遊戯する奔放な子どもたちは、お嬢様を喜ばせた。

⑧ 戸籍謄本をもとにした名簿の廃止を促す。

⑨ 弱気を克服するため日本最高峰のレースに挑戦し、余裕で優勝した。

⑩ 高緯度にある北極圏を訪れた邦人は、ビールでのどを潤し喜んだ。

- ① 鶏小屋が臭くなったため、泡の洗剤できれいにした。
- ② 隆起して丘陵になった土地では、稲作は控えられている。
- ③ 空飛ぶ円盤とネス湖の恐竜の写真は、長く人々の記憶に残るだろう。
- ④ 法廷で侮辱されて怒りが沸騰し、友人は鬼のような表情になった。
- ⑤ 「聴く」とは耳を傾けて聞くことで、情性で聞くことではない。
- ⑥ 碁の世界を描いたその二つの漫画は甲乙つけがたい。
- ⑦ 硫酸が漏れて、発酵の実験は失敗した。
- ⑧ 夫は妊娠中の胎児の写真を枠に入れ、姓名判断の本まで読み始めた。
- ⑨ 羅列された異なる解釈を逐一チェックして、訴訟に備えた。
- ⑩ 孤独な老人は、干潟までの切符を一枚買った。
- ⑪ 葬式の日は曇りで、おばは子どもたちに駄菓子を与えて慰めた。